

2007年11月5日

栃木県知事 福田富一様

日本共産党栃木県委員会

委員長 木塚 孟

国会議員団栃木事務所長

小池 一徳

栃木県議会議員 野村 節子

那須烏山市議会議員 平塚 英教

那珂川町議会議員 大森 富夫

茂木町議会議員 星 徹夫

那珂川の清流と天然アユを守るために
霞ヶ浦導水事業・那珂川取水口建設工事中止を求める申し入れ

国土交通省は茨城県ですすめる霞ヶ浦導水事業の那珂川取水口の建設工事を今月中にも公示する計画です。日本共産党は過日、現地調査を行い、この工事が那珂川を遡上する天然アユ漁に多大な影響を与え、那珂川の生態系をこわす可能性があることがわかりました。

霞ヶ浦導水事業は、霞ヶ浦の浄化を目的に「利根川～霞ヶ浦」「霞ヶ浦～那珂川」を地下導水管で結び水を融通させる計画です。那珂川取水口建設により、卵からかえった直後の仔アユが海にくだる途中で導水管に吸い込まれてしまいます。また飲用水に適さないほど汚染が進み、鯉ヘルペスの発生やブラックバスなど外来魚が繁殖する霞ヶ浦の水を濁水期に那珂川に流すことにより環境汚染や生態系破壊が心配されます。茨城・栃木両県の漁業関係者らは、死活問題として取水口建設反対の声明を発表し、工事中止を訴えています。

国交省は、仔アユのくだる時期、時間帯は取水制限するなどして仔アユの吸い込みを防ぐとしていますが効果の保障はありません。また、すでに完成した「利根川～霞ヶ浦」の導水管は、試験通水で利根川のシジミに壊滅的な被害が出たため通水がストップされています。霞ヶ浦の水が那珂川に流されれば同様のことが起きかねません。また「霞ヶ浦～那珂川」導水管の土浦市～石岡市間は地上権者の承諾が得られておらず着工のめどがたたないにもかかわらず那珂川取水口工事を先行しようとしています。

栃木県は「食と農躍進プラン」の5カ年計画で、天然親魚由来の稚アユ生産を20万尾から200万尾に10倍加させる計画ですが、取水口建設はこうした資源を枯渇させる危険さもあります。上流にダムがない那珂川は四万十川に匹敵する日本の宝、県民の宝でもあります。那珂川水系の生態系を守るため、栃木県としてこの工事中止を要請することは県民益にかなうことであり、他県での事業ではありますが本県として看過できない問題として対策を講じられますよう強く要請いたします。

記

1. 国土交通省に対し、霞ヶ浦導水事業の那珂川取水口建設の中止を求めること。

以上